ボーイズリーグ

BOYS LEAGUE
日本少年野球連盟

笑顔MVP！
渡邊 泰平
世田谷ボーイズ

「野球をやっている時が一番楽しい」

ベーラン王!!

パナソニックカップ
第16回日本少年野球
関東ボーイズリーグ大会
（7日・西武ドーム）

開会式が行われ、出場する東北・関東甲信越の中学生159、小学生24チームの計3500人が元気に行進した。式後、第7回東日本ベースランニング大会と中学生の部1回戦2試合が行われ、戦いの幕を開けた。決勝戦は小、中ともに5月4日、埼玉・本庄市民球場で予定されている。

ベースランニング大会で優勝した（左から）館林・石山、県央高崎・米谷、相模・堀野、藤岡・高橋

石山 館林

「自信の足」で157人の頂点

中学生男子

「足に自信はあるので、1位になれると思ってました」。余裕の表情で、冷静に振り返ったのは館林ボーイズ（群馬）の石山諒。14秒48の好タイムで参加157人の頂点を極めた。

学校では陸上部に所属。昨年夏の関東大会にも学校代表で100㍍走に出場した。その時は惜しくも予選落ちとなったが、自己ベストは11秒5。俊足は学生時代に野球をやっていた父、陸上をやっていた母譲りだ。

チームでは「1番・二塁」。塁に出れば、すかさず盗塁。「中学に入って刺された記憶はない」。最強の武器で楽々と次の塁を陥れる。「ギリギリの打球を捕ってアウトにするのが快感です」。ノックと牛乳を愛する骨太少年の俊敏な動きは、守備にも大きく生かされている。

小学3年から軟式野球を始めた。太っていた体は5年生になると引き締まり、脚力がアップした。「野球をやっている時が一番楽しい」と笑うが、通知票の評価で3以下を取ったことはないと言うように、学業でも理解のスピードは速い。

「打ってよし、走ってよし、守ってよし。イチローさんのようなプロ野球選手になるのが目標です」。落ち着いた口調が印象的な3年生が見据えるのは8月のジャイアンツカップ出場。「一戦一戦勝っていけるように、塁に出て貢献したい」。創部3年目を迎えたチームを、石山らI期生がまずは関東ボーイズリーグ大会制覇に導く。

（田中 俊光）

堀 相模

大会新!!16秒台

小学生男子

待望の16秒台だ。相模ボーイズ（旧相模ホワイト、神奈川）の堀野滉朗が左翼手兼投手を務める大黒柱的存在だ。

14日に迎える初戦の相手は、東北支部から唯一参戦している福島の郡山中央ボーイズ。「順調に勝ち進んで、優勝カップをもらいたい。ホームランも打ちたい」と目を輝かせた。神奈川の古豪4度目の優勝は、小さな快足ランナーの活躍にかかっている。

高橋 藤岡

川井とワンツー

中学生女子

27人が出場した中学生女子の部で頂点に立ったのは、藤岡ボーイズ（群馬）の高橋亜珠美。チームメート・川井菜月との"ワンツーフィニッシュ"を決め、あどけなさの残る表情を崩した。

「この大会を目標に普段の練習からムダのない走塁を心がけてきた」という164㌢の高橋は昨年春、全国大会出場も経験した主力選手だ。投手兼外野手で副主将としてチームをけん引。

WBCで活躍した阪神・鳥谷のファン。投手としては中日・浅尾の機敏な守りを手本にする。「1位を取りに行く」。強い気持ちを胸にダイヤモンドを最速の16秒75で駆け抜けた。

「将来の目標は日本代表。盛り上げたい」と高橋。男子に負けない野球への思いと恵まれた身体能力で夢を実現させる。

中学生女子の部で最速タイムを出した藤岡・高橋

米谷 県央高崎

チームをPR

小学生女子

県央高崎ボーイズ（旧高崎ジャイアンツ、群馬）の米谷奈月は、予想外の1位に戸惑いながら表彰式に臨んだ。「思っていなかったので、とてもうれしい」。はにかんだが、今季から名称が変わったチームを自らの活躍でPRした。中学生の部・上州ボーイズ（群馬）に在籍する兄で双子の隼太（2年）の影響で野球を始めた。この冬に入部した。右投げ右打ちで50㍍走は8秒2。外野手兼投手、打線では6番に座る。3月のペガサス杯では、信濃大町戦で公式戦初ヒットを右翼へ運んだ。

「もっと練習してホームランを打てるようになりたい」。11歳の夢は広がるばかりだ。

小学生女子の部を制した県央高崎・米谷

4回1死、埼北・綿貫が中前打を放つ

埼北ボーイズ 田島V打&完投

初回2死から斉藤勇太、台翔太が

▽同 埼北ボーイズ（埼玉）
大洋ボーイズ（茨城）
5回コールド
埼 000 200 5
茨 010 000 1
（埼）田島（台）
（茨）堀部（中島）
■田島、林（以上埼）
▽審判 高橋（球）原山、前田（塁）

世田谷	
選手名	学年
渡辺啓介	③
遠藤人	③
植田星	③
岡川城	③
渡谷史	③
小川平	③
小松司	③
松原也	③
菅原人	③
岩田司	③
渡辺介	③
板垣洋	③
関澤長	③
篠澤拓	③
長塚矢	③
飯澤樹	③
鈴木由	③
高波匠	②
春名彰	②
	②
	②